

寒風山



歩く時、木の根っこは
でこぼこで踏まないように
しよう。
足元にいる小さい虫も
踏みつぶさないように
気をつけよう。
どんなに喜ぶことだろう。

寒風山は石鎚山脈東部、高知と愛媛の県境に
あり、笹ヶ峰自然環境保全地域の一部に占
めてあり、四国百名山にも選定されている。
山頂南西側は険しい岩壁で断崖となり、
山頂一帯はシロツグサに覆われている。
360°を見渡ることができて、すぐ近くに笹ヶ峰
ちろ山、冠山、伊予富士など石鎚山系の山々
さらに太平洋から瀬戸内海まで望むことができる。

頂上には遮るものもなく
特に笹ヶ峰から55山
冠山の眺めが素晴らしい。

西を向けば
伊予富士の
ダイナミックな姿が
手にとるように見える。

西壁が目の前に
迫ってきて
心がとろける。

瀬戸内海の臨海
工業地帯が見える

寒風山

笹ヶ峰へ

伊予富士へ

桑瀬峠 451m

ミナタ木

ミナタ木

25分

本川の深い山
高知の山並一望

ここで日の出や夕日と
朝日がサリに光って
オレンジ色に輝く

広葉樹が覆い
気持ちがいい

大分水嶺

ここに降る雨と太平洋と
瀬戸内海に分ける後線。
自分の日常もいつも何か
を運搬しつづけてここに
いる。
自分の毎日も分水嶺の
線、返した。

冬期には瀬戸内海側
から北の冷たい季節
風をもろに受ける。

西壁の岩上

はしご

岩の細尻

コナラ

ワラジロヒメヤ
ナニゴクミネカエ
などの樹林帯

樹林帯と比べると
ササ原が広がり
トウバスと比べると
山頂は明るくさだ。

美しいササ原

ササは厳しい自然の
中からしっかりと根を
張る。とても強い
植物だ。

1763m

寒風山

1763m

昔の呼び名は
「さむかせやま」

山頂に三角点はなく
国有林境界の石標山。

7月の終わりの雨の日に
大きな大きなヒメギエル
寒風山の山頂に
出会う。ハビ-級だ。
2023.9.23山頂
10.21

無事に帰る。
かわいくて、心と和
ませてくれる。

雨降りに山を
歩くということは
まっ白の霧の中
いることを
考えるから歩ける。
たのしみ山行
となる。

ぐみはと落ちてない
ピクピクの登山道

ニホンジカは下ろすだけ
にしか通らない。



このあたりは吉野川源流部の深山幽谷の
地にあるが、なんと吉野川を利用した川流
によって木材を徳島まで運び出すことができた。
なによりヒキの良木の森であったため、
佐藩は御留山として囲い込み、採伐伐採を
進め、本山の白鷺山から始まる森林開発は
17世紀には川村利村と吉野川の奥まで
行われていった。

桑瀬峠は正期まで
高知と愛媛を結ぶ
往還道の中間点で
あった。食料品、そして
木材までも人の背で
この道を越えて運ばれた。

登山道にはゴミがない。
みんなのマナーが素晴らしい。
ゴミを拾うことが出来る人は
チャンスと拾うことができる人だ。

村の長さは二間(4m)



カブリ負い

落葉広葉樹の二次材の中
急斜面につづら折りの道が
上へ上へと延びている。

いそがしい
急登、岩も。

茶屋

旧寒風山(初南口)

展望所

じゃや塩魚は
専属の魚売り
行商がいた。
塩をいれずいた
魚ばかりだった。

下流の本山のおから
品物が入るよう
になった正の終り頃
まで行われていた。

岩峰に紅葉が美しい
2023.10.2

